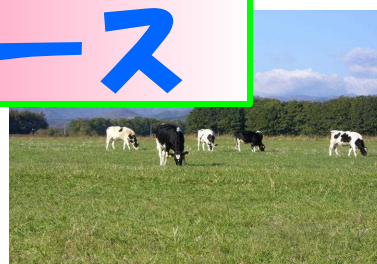
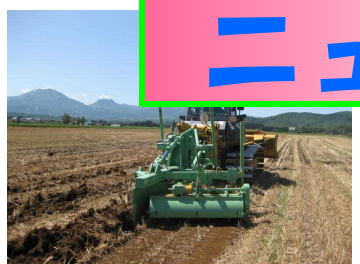


▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第11号)

地球温暖化や世界的な感染症の拡大、そしてウクライナ情勢は、社会経済に多大なる影響を与えており、農業分野においても様々な課題への対応が急務となっている昨今です。

本日6月1日は当公社の創立記念日。今年は52回目となります。これからも、先人たちが数々の困難を乗り越え築いてきた本道農業・農村の一層の発展に当公社がさらに貢献できるよう、決意を新たにしているところです。

農業公社ニュースの第11号をお届けいたします。

■ 令和4年度 第1回支所長会議を開催

新年度体制となって初めての支所長会議を4月28日に開催しました。この会議は、年間4回程度開催しているものであり、8支所長と十勝育成牧場長、本所は常勤4役員以下幹部職員が出席メンバーとなっています。

冒頭、小田原理事長の挨拶では、昨年度を振り返り、天候に恵まれ現場の工事が順調に進んだ一方、感染症等の影響で就農フェア等の開催がオンライン実施となったほか、特に乳用牛の市場価格の下落、飼料価格の高騰などにより、年度の後半になるにつれ、経営が厳しさを増す1年となったものの、事務・管理経費の縮減などに努めた結果、令和3年度の公社事業及び決算見通しがほぼ当初計画どおりとなったことへの感謝を述べました。

また、今年度の取組や課題として、「① 人材育成と職場の良好な関係性」、「② 公社営事業の確保と円滑な推進」、「③ 次期の第4次中期経営方針（令和5～7年度）の策定」の大きく3点についてふれ、特に1点目に関しては、行政機関や農業団体から頼られる「プロ」の職員になるよう努めてほしい旨、力強い呼びかけがありました。

会議の中では、3年度事業の総括を踏まえつつ、各地域の特性を活かした4年度事業の推進方策等について、本所と支所・牧場間の双方向の熱心なやり取りがなされ、最後は時間を押すほどの状況となりました。

【総務部】

■ 家族との時間を求め、厚真町に移住就農した 安達さんご夫妻
～ 令和3年度新規就農優良農業経営者を理事長から表彰 ～

道内で新規就農された方の中から、地域に定着し優秀な経営を実現された経営者を、当会社が「新規就農優良農業経営者」として、毎年表彰しています。令和3年度については、厚真町の安達博司・悦子さんご夫妻が最優秀賞に輝きました。

安達博司さんは小樽市出身で、埼玉県で自営業を営んでいましたが、家族との時間のある生活を求めて、故郷の北海道への移住を決意し、新規就農フェアなどにおける情報収集を重ねて、厚真町を移住先に選びました。

町の地域おこし協力隊農業支援員第一期生に応募して移住し、平成23年から営農技術の習得や人脈づくりに励み、26年3月に、ほうれん草専業農家として独立就農しました。

その後、ご夫婦で基本に忠実な営農を続け、高水準の収量を実現されるとともに、新たな販路の開拓や新規作物の導入にも取り組み、安定した経営を確立されています。

また、地域活動やイベントにも積極的に参加したり、あとに続く新規就農者への指導やアドバイスなど、“頼れる先輩”としても活躍し、地域にしっかり定着されています。

さる4月18日に小田原理事長が厚真町役場へ出向き、宮坂町長立会いの下、ご夫妻に表彰を行い、その後の懇談では、思い出や今後の抱負などを楽しげに話していただきました。お子さんも含め、「家族との時間」を大切にしてくられたことが伺える、自信に満ち溢れた笑顔が印象的でした。

安達さんご夫妻、受賞おめでとうございます！！



▲ (左から) 小田原理事長、安達博司さん、安達悦子さん、宮坂厚真町長

【担い手支援部】

■ 新規就農フェア、久々に開催！

～ きたる6月11日、札幌コンベンションセンターにて～

就農相談イベント「北海道新規就農フェア」を、6月11日（土）10:00から札幌市白石区東札幌の札幌コンベンションセンターで開催します。

当公社主催の就農イベントは、新型コロナウイルス感染拡大の関係から、やむを得ず中止が続いてきており、この度の開催は令和3年3月以来、1年3ヶ月ぶりとなります。各地域センターも意欲満々で、出展募集の告知から、わずか数日で収容上限に到達しました。

今回は47市町村からのブース出展を予定しており、現在絶賛準備中です。



▲ 今回開催のリーフレット



▲ 過年度開催の様子

～ 熱心な就農希望者に丁寧な情報提供 ～

【担い手支援部】

■ 「6次産業化サポートセンター」今年も開設

～ 6月13日 オープン予定～

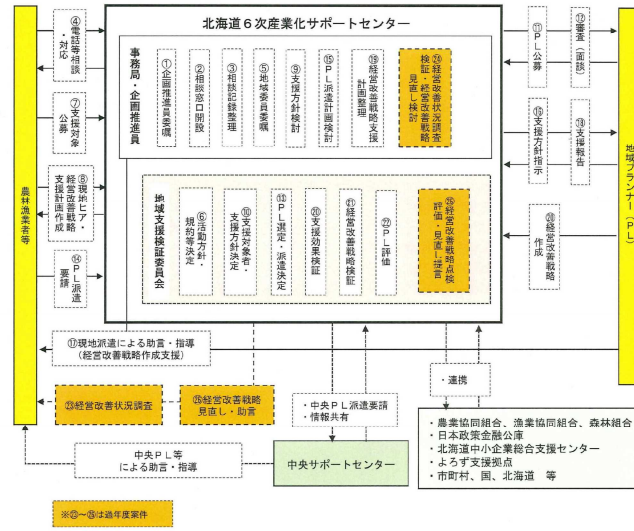
昨年度から実施している、6次産業化に取り組む農業者を支援する6次産業化サポートセンターについては、今年度も6月13日からのオープンに向け、現在準備中です。

昨年は事務局が他団体から移管されたこともあり、環境整備に手間取りましたが、今年は少しでも早目のオープンとなりました。

当公社にシフトで駐在して相談対応や支援のコーディネートを担う企画推進員は、1名の交代がありました。引き続き4名体制で対応します。

昨年度は215件の相談を受け、税理士や中小企業診断士、商品開発などの専門家を派遣する重点支援者に9件を承認しました。今年度も昨年度並みの対応をめざし、近日中にパンフレットやホームページを整備しますので、

皆さんもこの「6サポセンター」をよろしくお願いします。
オープン後は、お気軽にご相談下さい！



【農業経営相談室】

■ 農地中間管理事業の積極的なご活用を！
～ 「機構集積協力金制度」の内容が一部改正されました～

地域の話し合いにより、まとまった農地を農地中間管理機構（当公社）に貸し付ける地域や、担い手への農地の集積・集約化に取り組む地域に対し、協力金が交付される地域集積協力金をはじめとした「機構集積協力金制度」ですが、令和4年度から制度内容が一部改正されております。

その内容は、農地バンクからの転貸により、農地の集約化に取り組む地域に対して奨励金が交付される「集約化奨励金」が新設されたことのほか、交付要件の一部緩和等がなされていることです。

地域の話し合いにより、農地の集積・集約化を図る際の有効な支援制度ですので、ぜひ農地中間管理事業の取組をご検討ください。
なお、機構集積協力金制度の詳細につきましては、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

令和4年度（2022年度）
農地バンクを活用しましょう！



<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/attach/pdf/index-17.pdf>
(農林水産省HP⇒「機構集積協力金の概要(リーフレット)」)

【農用地部】

■ 公社貸付事業を活用した乳肉用牛の導入が始まっています!!

畜産部が取り扱う乳肉用牛貸付事業を利用した貸付牛の導入が、今年度も予定どおりスタートしております。

公社貸付事業の内容は、前回第10号の農業公社ニュースにおいてもご紹介しましたが、当公社が購入した乳肉用牛を、地元農協を通じて一定期間貸付し譲渡する仕組みとなっています。

現在の状況は、全道各地に事業参加の要望調査を実施し、参加意向のある地区（農協単位）に書類を提出いただき、貸付承諾の決定・通知後に、導入及び貸付を行っております。

昨年度は、乳肉用牛ともに多くのご要望をいただき、乳用牛は概ね計画並みの導入をはたすことができましたが、肉用牛はコロナ禍の中で、一昨年同様、道外市場への購買出張の中止などもあり、農家の方々のご希望に沿うことができなかったように思われます。



▲ 十勝育成牧場（大樹町）

今年は…と意気込みはあるものの、生乳の需給安定に向けた生産抑制下において、乳牛導入を声高にお願いするわけにはいきませんが…、肉用牛導入については、現在のところ道外購買は実施可能となっております。ご希望がございましたら、是非ともご連絡をお願いいたします。

事業に関するご相談等は随時受付しておりますので、地元農協を通じて畜産部（直通電話011-241-5761）まで、ご連絡をお待ちしております。

【畜産部】

■ 乳肉用牛の放牧を開始しました

今年は天候に恵まれ、先月5月18日から、放牧に向けた牛の仕分け作業をスタートさせました。

牛の首に付けている管理番号と耳標番号を確認し、指定された放牧地まで群れで走らせたり、家畜運搬車で輸送したりなどで無事に入牧しました。

- ・ 放牧開始時期：5/18～20 〔※ 参考～総面積（採草地含む）507ha〕
- ・ 乳用牛：1035頭のうち約330頭放牧、放牧地5か所（133ha）
- ・ 肉用牛：219頭のうち約50頭放牧、放牧地2か所（10ha）

入牧直後は、牛が放牧地に慣れていないことから、有刺鉄線でケガをすることもあるため、朝晩入念に見回りを実施しています。

今年も半年間、良質な牧草と広大な草地で「優良な牛づくり」にしっかりと取り組みます。



【十勝育成牧場】



【本所・支所・牧場所在地】

●本所 ①～⑨ 支所・牧場



【本所】 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL. 011-241-7551(代表) FAX. 011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監 査 室
TEL. 011-241-7557

総 務 部
TEL. 011-241-7551

担い手支援部
TEL. 011-271-2255

農業経営相談室
TEL. 011-522-5579

農 用 地 部
TEL. 011-241-5751

農 村 施 設 部
TEL. 011-241-5701

農 場 整 備 部
TEL. 011-241-7554

畜 産 部
TEL. 011-241-5761

統括労働安全
衛生委員会
TEL. 011-241-7557

【支所・牧場】

① 岩見沢支所 (旧・道央支所)

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 苫小牧支所 (旧・日胆支所)

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

③ 帯広支所 (旧・十勝支所)

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協ビル
TEL. 0155-24-0254 FAX. 0155-24-0261

④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑤ 中標津支所 (旧・根室支所)

〒086-1006 標津町標津東6条南1丁目2番地 根室農業会館
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑥ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑦ 旭川支所 (旧・上川支所)

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑧ 稚内支所 (旧・道北支所)

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159

※ 道南支所は令和4年3月31日をもって日胆支所と統合し、
4月1日から、日胆支所を含む6つの支所の名称を所在地名に変更